



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度 RI テーマ
Rotary Opens Opportunities

国際ロータリー会長
ホルガー・クナーウ

Weekly Bulletin

30th anniversary

藤枝南ロータリークラブ 会報

例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内 藤枝市藤枝 4-7-16
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2020-21 年度
会長：松浦正秋 副会長：竹田敏和 幹事：鈴木健夫 副幹事：望月 誠

例 会 第 1390 回： 通常例会/小杉苑

ソング 四つのテスト、赤とんぼ：ソングリーダー 数野晴紀君

原点回帰

■ 会長挨拶

松浦正秋君



女子プロゴルファーに古江彩佳という 20 歳の選手がいます。トーナメントは真剣勝負の場であり、その様ななかで、いいショットをしても笑顔、ミスをしたとしても笑顔でいます。その彼女は、2 週連続で優勝して、今年 3 勝目を挙げました。優勝争いに挑む前日に目標を聞かれると必ず言う言葉があります。「あしたも楽しんでやりたい」優勝したい、10 アンダーで回りたい、相手に負けないようにしたい。そういったことよりも「楽しむ」ことを優先しています。若い選手たちは、この「楽しむ」ということをよく口にするようです。

しかし、ある年齢以上の選手にはなかなか当てはまりません。34 歳の選手は「私は楽しむということにはなかなかしっくりきません。年齢的な違いもあるのかな。私が楽しいのは趣味。ゴルフの試合は戦い」と言っています。

優勝会見で、どうして楽しいラウンドだったと言えるのかを聞かれた時「一日を終えてというよりは、ミスしても、いいショットを打っても楽し

く、前向きに考えられたことが楽しくできたことかなと思っています」と答えていました。優勝できて「楽しい」ではなく、いいショットができて「楽しい」でもない。何が起きても、自分で「楽しむ」悪いことがあっても、その状況を常に前向きに考えています。

事業活動の場面や日常の様々な場面において、物事が自分の思ったように進むことばかりではありません。コロナ禍で何が起きるか見通せない状況です。楽しむという心持ちで日々事に接していただけたらと感じた今週です。

■ 幹事報告

鈴木健夫君

英字 ROATARY を回覧いたします。

■ 出席報告

笠原大輔君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
51/51 100%	44/51 86.27%

(1) 欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

(2) メイクアップ者

富澤静雄君 (静岡中央)

パーフェクト例会数 😊😊😊😊😊😊😊😊

欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

食事準備数	食事提供数	残	累計残
38	37	1	17



こんにちは、コロナ禍でスタートした松浦年度も5ヶ月が過ぎました。5ヵ月前は、1週間のご無沙汰です、いかがお過

ごでしょうかとスタートしましたが、コロナウイルス感染拡大している今日、皆様いかがお過ごしでしょうか、今朝の蓮華寺池公園の気温はというところですが、最近は巣ごもり状態でもっぱら5時ぐらいからスカパーのゴルフネットワークでPGA ツアーを観戦しながら自転車をこいでいます。

1時間ぐらい乗っているとランニングと変わらないくらい汗びっしょりになります、また、家の中ですので、服装は気にせず、トイレの心配ありません。

最近、還暦を過ぎたせいか身長が少しちじんだようです170cmあったのが168cmぐらいです、体重は65kg台を保っています。

しかし、自転車よりも朝のランニングの方が四季折々の草花の開花、鳥の囀り、また、朝の空気、走っていると五感が楽しめて良いと思います。

今日の例会は、早川清人さんの黄綬褒章受章祝賀例会で夜間例会でしたが、コロナウイルス感染症を鑑みて、変更の変更で通常例会に成りました。このような状況下で大変残念では有りますが、機会を觀て早川さんの祝賀会を開催するそうです。そんな訳で先週、平原クラブ運営委員長から、渡邊さんお願いがあります、来週の卓話をお願いしますとの事でした。ロータリークラブに入会して全てイエスと答えなさいと教えられました。

この5ヶ月で、パスト会長の卓話は初代会長の富澤会長に始まり、朝比奈さん、小林さん、小山さん、高杉さん、渡邊お兄ちゃん、小池さん、伊藤恒夫さん、佐野芳正さん、稲葉さん、池ヶ谷さん、伊藤彰彦さん、早川さん、と先輩パスト会長からお話を頂きました。

今日の卓話は、内山さんのようですが、変更の変更で平原委員長もご苦労されていると思います。しかし、私の前には若林さん、村松章隆さん、内

山さん、山田さん、江崎さん、飯田さん、そして、先輩の玉木さん、内藤さん、樽井さんがいらっしゃいます。

まだまだ、私の出番はないと思っていましたが、30分の卓話を有難くお受けしました。

卓話のお題目とは、関係のない話に成るかも知れませんが宜しくお願い致します。

最近まで、サッカー協会の運営に携わっていました。11月25日(神の子)マラドーナが60才で亡くなりました、大変残念です。32才から青島東サッカースポーツ少年団のコーチを始め、日本代表を引退しましたが、長谷部誠選手は青島東の出身です。

私の長男は、誠選手と同級生で幼稚園から藤枝東高校まで一緒にサッカーをしていました。

宮原のグラウンドに私の担当していたチームが招待され、そこで佐野芳正さんの奥様、愛子さんが居りまして、まだ、愛子さんが青島東小学校の教員の頃だと思います。私がPTAの役員をしていたので存じ上げていました。

その時に初めて藤枝南ロータリークラブの存在を知りました。また、その後に青島東小学校のPTA会長をさせて頂き、若林さんが青島北小学校の会長で藤岡P連では内山さんにお誘いを受けましたが。父親が65才で私が35才の時に父親が他界しまして、その時はまだ余裕が有りませんでした。

話は変わりますが、誠選手が長男と同級生と言うことで、長谷部誠後援会を立ち上げました。

彼のお陰でドイツに2回と、その周辺国フランス、ベルギー、デンマークなど、ワールドカップ南アフリカ大会を始め、多くの試合を観戦し、また、旅行をさせて頂きました。

懐かしい、南アフリカ大会の写真が有ります。この時は既に南クラブに入会しておりまして、卓話でこんな報告をしています。

南アフリカ帰りの渡邊次男です、病気が心配です？早いものでワールドカップも残す所、三位決定戦と決勝戦を残すのみと成りました。

南アフリカへ、ワールドカップを観戦に行くと妻に話した所、猛反対されました。

日本に届いた南アフリカの情勢が原因と申さず、強奪、暴行、エイズ、警察官が600丁もの拳銃の横流しなどあまり良いニュースが伝わって来ません。

そして、妻が風邪をひいて寝込んでいる間に、顔を見ず6月12日(土)に出発をしました。

南アフリカまでの空路ですが、一般的に成田空港からですが、旅行会社に20名集めるからと交渉し中部国際空港から香港へ、この間トランジェットが4時間程度、そして、南アフリカ(ヨハネスブルク)まで14時間程度と強行軍のフライトでした。

無事にヨハネスブルク国際空港に着き、ここで日本との時差が7時間程度有ります、そして、空港ロビーでブーブーと変な音が聞こえます、これが噂のブブゼラの音だと後に成って気付きました。このヨハネスブルクが南アフリカ一番の犯罪都市だそうです、我々は比較的安全な首都プレトリアに宿を取りました。

ヨハネスブルクからプレトリアまでバスで1時間と有りましたが、これがアフリカ時間です、3時間程度ハイウェイをバスに揺られながら周りの景色は何処までもトウモロコシ畑、牧場です、牛や馬や羊が広い中に放牧されていますが、牛舎が見当たりません家畜は夜に成ったら何処に行くのでしょうか？

途中休憩のドライブインで2002年ワールドカップ、カメルーンのキャンプ地、大分県中津江村、坂本 元村長に会い写真撮影をしました。元村長は大変人気者で、唯一カメルーンの民族衣装を着ていました。

プレトリアにやっと着いたと思いきやホテルを探すのに30分程度掛かりアフリカ人のお国柄が分る様な気がしました。

プレトリアは南アフリカの首都で、行政の中心地でも在り各国の大使館や大学、研究機関が多く集まり、町は他の都市に比べのんびりとした雰囲気です。

プレトリアの春(10月)に成ると街路一面にジャカラダの紫の花が咲き乱れ、町全体を紫色に染め上げ日本の桜と言われているそうです。

何とホテルに着きますと、中津江村元村長、長友のファミリー、遠藤のファミリーが一緒でした。翌日はカメルーン戦です、プレトリアからフリーステートスタジアム(ブルームフォンテン)まで500km、やはり景色は行けどもトウモロコシ畑、放牧地です。

いざフリーステートスタジアムに着き、長谷部誠の横断幕を広げ写真撮影をしていると、対カメルーン戦と言う事もあり、肌が焦げた連中が寄って来る事、寄って来る事、それは大変でした。私達の観戦スペースは長谷部選手が用意してくれたチケットで周りが選手ファミリーでした。

長谷部選手がキャプテンマークを付けて入場して来た時は鳥肌が立ち、国家、君が代斉唱は涙が出るほど感動しました。

ここで空港ロビーの音がブブゼラの音だと分かりました、凄まじい音です4万5千人満席で半数以上の人がブブゼラを鳴らしているように感じました。

試合の結果は、ご存知のように、日本が勝ち、これで波に乗り決勝トーナメントに出場できたのではと思います。とても良い試合を観戦出来て幸せでした。南アフリカまで行った甲斐が有りました。まだまだ、話は尽きませんが南アフリカの報告とさせていただきます。

話しが飛びましたが、南クラブに入会した経緯は、私の後の青島中学校のPTA会長を誰が受けるかでした、東小学校の時は会長を蹴られました、私が南クラブに入会をさせて頂くことで今回は会長を引き受けてもらいました。

また、この頃、藤枝クラブからも入会のお誘いが有りましたが、南クラブに入会させて頂きました。紹介者は、今は退会されましたが桑原信之さんです。

2003年3月28日に入会をしました。時の会長は小山さん、幹事は佐野芳正さんでした。

右も左も分からなく、入会して間も無く例会を欠席しましたが、何処でメイクアップするのか分かりませんでした。今日まで100%出席を保っています。

小山さん、佐野さんに飲み誘われるとカラオケでお二人は何時もハモっていた記憶があります。お話に有りましたが、入会当初は皆、親睦委員会に配属されました、この当時は新入委員が1ヵ月間だと思えます、今週の一言、ソングを担当していたと思えます。2年後くらいからだと思えます、今週の一言が、今の様に50音順でメンバー一人一人に回る様に成ったと思えます。クラブの委員会に参加し、同好会に参加し、南クラブに入会しなければ皆様とこんなにもひたしくさせて頂けなかったでしょう。

経営者は孤独だと思えますが、異業種のメンバーの皆様とお話が出来、支えられ、ご理解頂き藤枝南ロータリークラブに入会して本当に良かったと思えます。

これからも藤枝南ロータリークラブのロータリアンで有りたいと思えます。

まだ、少し時間が有りますので思い出をご紹介します。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
12/4(金) 第 1391 回	年次総会	理事会
12/11(金) 第 1392 回	会員卓話	小杉苑
12/18(金) 第 1393 回	会員卓話	小杉苑
12/25(金) 第 1394 回	お弁当配布	小杉苑



■ 今週の一言

笠原大輔 君



新婚旅行でラスベガスに行きました。ベラッジオというホテルに泊まり、最終日に少し贅沢をしようと、るるぶで紹介されていたピカソと

いうレストラン（店内にピカソの絵が数点飾られている）に行きました。英語のメニューで値段がよくわからなかったのですが、とにかく品数が一番少ないコース料理を頼みました。

牡蠣のワイン蒸しなど、「砂漠にしては美味しいね」なんて軽口をたたきながらの食事でしたが、会計をしてみたら20万近い請求書でした。るるぶに書かれていた@120ドル～はコースの値段ではなく、料理1品の値段だったのです。

28%はカードでなく現金で払うように言われたので二人の財布のドルをかき集めて支払いました。食事中はピカソの絵の前での写真撮影はマナー違反かと控えていたのですが、20万円も払えば構わないだろうと思い、店内で一番大きなピカソの絵の前で写真を撮ってもらいました。涙目で写る若い夫婦の写真は今も家に飾っています。

